

2023MFJ 全日本スーパーモト選手権第 2 戦戦 HSR 九州 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10open クラス

MERCURYPRODUCTS #9 薄井保彦

5 月 21 日 HSR 九州で開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権第 2 戦に参戦しました。

金曜日までの雨で土曜日の前日練習は 1 走行目ダートキャンセル。

2 走行目からダート有りの走行になりました。

今回はかなり気合が入ったダートを HSR 九州が作成してくれました。

そのダートがこちら。



左からダート進入、U ターンしてバンク



小さめのジャンプが 2 つ有りその後 1 つ目のテーブルトップ。これはわりと形がよく飛び易い。



その後かなり尖がった形状で前転注意の小さいジャンプがいやらしい位置にあり、そこから大きなテーブルトップ。2番目の画像で確認すると高さ6メートルくらいはありそう。そしてこのテーブルトップは飛び出しより着地の方が高さがあり、飛びきらないと登り斜面に着地となる為着地の衝撃が強く、飛びきらないならジャンプを控えめに飛ばないとなりませんが、タイムは出ません。

そして、2つ目のテーブルトップを越えると2個の小さいジャンプがありその後90度ターンしてターマックに戻ります。

走った感触 2個目のテーブルトップは無理すれば飛べそうな気もしますが、失敗するとかなり怪我のリスクが高そうで試すのすら躊躇します。周りのOPENクラスも飛びきっているのは2人だけ。前日練習はテーブルトップ上を加速してタイムを詰める練習に努めました。

レース当日も快晴で九州だからか風もさわやかで絶好のレース日和。今シーズンからフォーマット変更で公式練習からそのままグリーンフラッグが振られタイムアタック開始。

1本目の体力有るうちに鬼門の2個目のテーブルトップ飛びきってみます。が、ちょっとのビビりでショートしてしまい強い衝撃で着地。衝撃で縮んだサスが一気に戻りテーブルトップ上で跳ね返され制御不能のまま下へ着地。次の小さいジャンプ1個目はなんとかいなせたものの2個目のジャンプで前の選手に追いついてしまい追突を避ける形で転倒。マシンも体もダメージはありませんでしたが心にダメージが残り2個目の大きなテーブルは飛び越えるのを諦めます。

ただ、高速のターマック区間が特徴のHSRはダートでロスしたタイムをターマックで取り返せます。新品のBSスリックのグリップが非常に良くて一番の高速コーナーで追いついた選手は大抵パッシング出来ました。

結果、予選タイムは 21 台中 9 位。ダートで心折れた中では良い結果だと思います。

9 番手グリッドで迎えたヒート 1。



3 列目アウト側からのスタートです。絶対 1 周目のダートは荒れるはず。なるべくコースの真ん中を走り左右どちらで混乱があっても避ける作戦です。



レーススタート。全クラスで 1 番参戦車両の多い OPEN クラス。案の定ダート入り口大混乱。どこを走るとかこちらの意思は関係なく集団に飲まれて隣の選手と接触したままなんとか転倒を堪えてイン側へ。そこになんと予選トップの選手が転倒。完全に目の前と後ろを塞がれ待つしかなく、なんと最後尾に後退。

得意のターマックで順位を回復しつつ数周後、ダートで多重クラッシュ。今度はいうまく避けて順位ジャンプアップ。ダートでもう 1 人抜いて 11 位まで回復。ただ、その選手には抜き返されさらにダート出口でギアがニュートラルに入ってしまう失速した所でもう 1 台に抜かれ 13 位に後退。ファイナルラップに前方の選手が最終

コーナー手前でオーバーラン。すかさずインに飛び込み 12 位。最終コーナーを立ち上がりなんとか 12 位でチェッカー。なんだか忙しいレースでした。

昼を挟み第 2 ヒート。

1 ヒートの結果順なので 12 番グリッド。4 列目アウト側です。1 ヒート目のスタートの惨状を思うと少しでも後ろの方がトラブル回避し易い? とはいえ、前からのスタートが良いですね。

もう作戦も通用しないので臨機応変にと第 2 ヒートスタート。



大きな混乱もない代わりにイン側渋滞に巻き込まれ順位を落としてしまいます。スタート後の並んでジャンプとか嫌ですね。集団が少しばらけて 2 周目、2 個目の大きなテーブルトップでイエローフラッグ。慎重にジャンプを飛ばない様に走るとテーブルトップ上に転倒者。動いていない様子。やっぱりこのテーブル危ない。ターマックに出たところでレッドフラッグ、レース中断です。

朝は気候が良く感じていましたが午後には暑くなり走った直後のフル装備での待機はキツイ。ピットロード脇の TOYZ レーシングのピットにお邪魔して水を分けてもらい暑さをしのぎます。

暫くしてレースは 1 周減算で再開。スタートから仕切り直しです。

仕切り直しレーススタート。自信がないせいかスタート直後のダートで順位を後退してしまいます。3 つ位順位を落とし 4 台集団の台目を走行。後ろを走る梅田選手の TM(イタリアのバイクメーカー)のエンジンが速い。

得意のターマック上の少しのストレートであっさり抜かされます。その後梅田選手のミスを付き抜きつ抜かれつを繰り返しますが梅田選手は前の山下選手も抜き集団の先頭へ。

その後は前方山下選手とのバトルになりダートでパッシング。染谷選手をターマック高速コーナーで抜き 12 位へ。真後ろは先程抜いた山下選手ダート出口では毎回並ばれます。ただクリーンファイトで進路妨害も無くレースを楽しめます。そして山下選手と 0.02 秒差でチェッカー。結果出るまでどちらが前か分かりませんでした。たが 12 位という結果でした。



正直、最初にコース見た時はポイントゲットできればいいかな位の難しいコースでしたがターマックが調子良かったのとダートも思っていたほど他の選手と差が無く、ダート上でパッシングもできたりもしたので両ヒート共 12 位で終わりました。

1 周目のダートの混乱回避が出来ればさらに上が見えたかもしれませんでした。

次回は 6 月 11 日福島県エビスサーキットでの第 3 戦。もう少しダートに自信を持って挑みたいと思います。

引き続き応援、サポート宜しくお願いします。